

FSJG

脱ひきこもり支援

確認されたもの・続けたいもの

についてみんなで語ろう

2007年 3月4日 クレオ東

FSJGが笑い飛ばすもの

原因を知る（大笑）

親のせい？（大笑）

アスペルガー、広汎性発達障害（大笑）

治す（大笑）

ヨットスクールで根性治し

居場所を作る（大笑）

職業訓練所を作る？（中笑）

「受容」 (大笑)

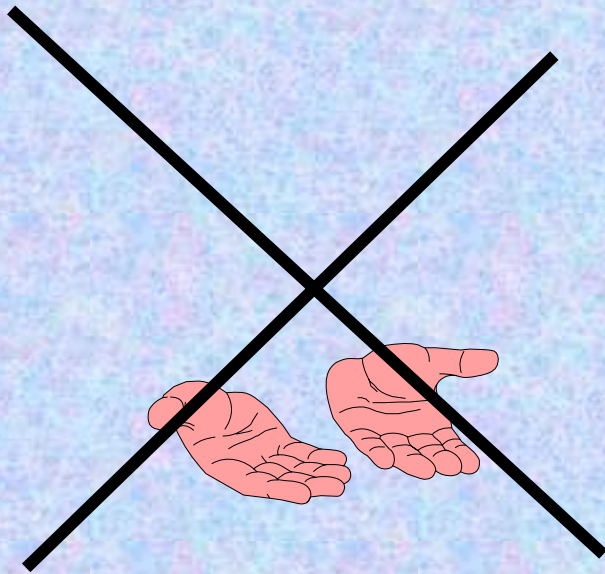
「引きこもることを認める」 (中笑)

「知る」のでも、
「治す」のでも、
「受容」するのでもない。

何をするのか？

「行動」することを助ける

Given



Get



一人一人の個人において、
正の強化で維持される行動の選択肢を拡大する



それぞれの個人について、「やりたい」と思える行動を
成立させ、さらにその選択肢を増やすことを支援する

「やらなくてはならない」（負の強化）ではなく
「すすんでやりたい」（正の強化）を支える

いつでも最初の一歩

- 常に、現在の「行動」を認める。
- しかし、それは社会関係を結ぶ方向に向かった「最初の一歩」を常に支える

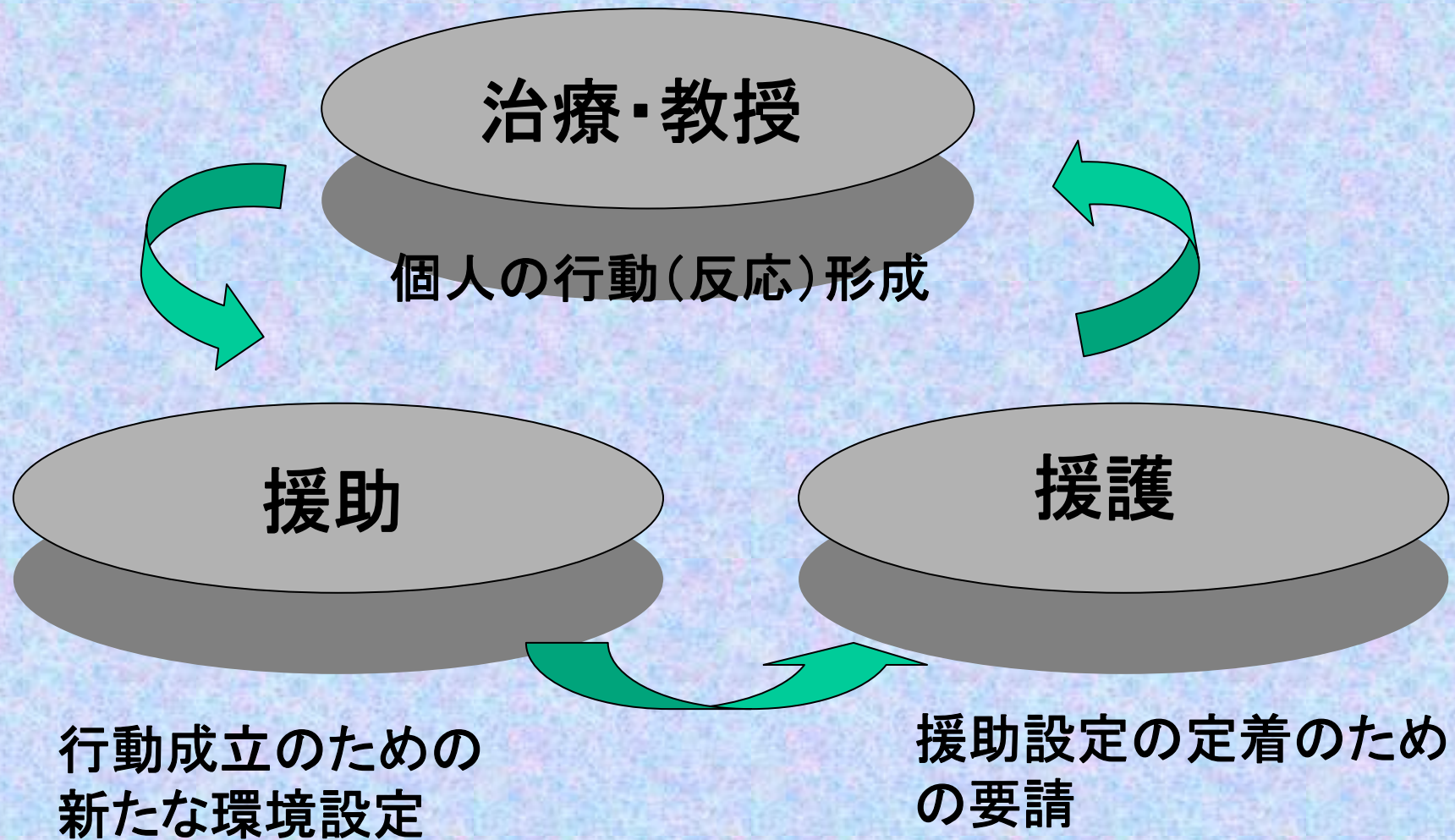
いま、できるJOBを創ってしまおう。

F S J Gの方針

- 「ひきこもり」という問題に関して、仕事成立という具体的な課題へ対処することで、哲学や精神論的なエンドレスな議論を繰り返すのではなく、「いま、何が必要なのか」を明確に示そう。
- 「仕事」という必然的に社会に開かれた行動の成立に焦点化することで「おかしい心理主義」ではない対人援助の形を作ろう。
- 「仕事成立への援助」は多くの関係者が参加しやすい（専門家自身の「ひきこもり」を許さない）

従来の心理学・福祉学等を越えた対人援助を巡る「連携」のひとつの在り方を期待する。

たすける（対人援助）という作業の3つの機能



いつでも最初の一歩！

What will happen if ?

今度はこんなことしたらどうなるだろう、
うふふふ . . . (Sidman, M)

常に、「今」を楽しみながら